

## 平成21年9月期 第2四半期決算短信

平成21年5月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 中央経済社  
 コード番号 9476 URL <http://www.chuokezai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 山本 時男  
 (氏名) 津原 均

TEL 03-3293-3371

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第2四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第2四半期	1,817	△9.7	253	△21.1	267	△20.2	149	△23.6
20年9月期第2四半期	2,011	2.8	322	△6.5	335	△5.6	196	4.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第2四半期	39.38	—
20年9月期第2四半期	49.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第2四半期	4,914	3,652	74.2	977.46
20年9月期	4,804	3,646	75.9	913.06

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 3,647百万円 20年9月期 3,644百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	0.00	—	13.00	13.00
21年9月期	—	0.00	—	—	—
21年9月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,366	△8.7	268	△40.6	320	△33.3	190	△32.9	47.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第2四半期	4,398,464株	20年9月期	4,398,464株
② 期末自己株式数	21年9月期第2四半期	666,801株	20年9月期	407,033株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年9月期第2四半期	3,805,997株	20年9月期第2四半期	3,991,878株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、当資料作成時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界規模の金融市場の混乱から株価の下落、急激な円高や各種資源価格の乱高下等が続き、その結果、企業収益が低迷し、設備投資の減速、雇用不安の表面化、個人消費の低迷など景気後退が鮮明となりました。

当社を取り巻く出版業界も、販売金額において前年実績を下回り、さらには返品率が増加するなど相変わらず厳しい環境にあります。このような状況の中、当社グループは今までどおりに企業実務に真に役立つ本の企画・出版および広告を目指してきめ細かく活動いたしました。

出版活動は前期に引き続き旺盛であったものの、大型の実務書が不調でした。また製造原価は下がったものの返品率が高まりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,817百万円、営業利益253百万円、経常利益267百万円、四半期純利益149百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加155百万円によるものです。

負債は、1,261百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加47百万円によるものです。

純資産は、3,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に、自己株式取得により94百万円減少したものの利益剰余金が98百万円増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年4月30日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」で記載のとおり、平成20年11月13日付当社「平成20年9月期決算短信」にて発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,433,553	2,355,095
受取手形及び売掛金	953,371	798,368
商品及び製品	561,493	481,778
仕掛品	58,763	76,753
原材料及び貯蔵品	4,089	4,364
その他	78,244	76,438
貸倒引当金	△6,963	△10,941
流動資産合計	4,082,552	3,781,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,966	75,965
土地	376,551	376,551
その他(純額)	10,819	13,025
有形固定資産合計	460,337	465,542
無形固定資産		
投資その他の資産	23,527	23,586
投資有価証券	194,880	176,240
繰延税金資産	75,303	74,920
事業保険積立金	61,419	58,349
長期預金	—	200,000
その他	20,312	28,424
貸倒引当金	△4,069	△4,069
投資その他の資産合計	347,847	533,866
固定資産合計	831,711	1,022,995
資産合計	4,914,264	4,804,851

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	599,077	603,850
未払法人税等	118,111	70,948
賞与引当金	48,939	51,014
返品調整引当金	87,824	45,596
その他	208,115	185,997
流動負債合計	1,062,067	957,406
固定負債		
退職給付引当金	190,237	189,110
負ののれん	9,241	11,552
固定負債合計	199,479	200,662
負債合計	1,261,546	1,158,069
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,359,904	3,261,898
自己株式	△299,318	△204,515
株主資本合計	3,647,569	3,644,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	64
評価・換算差額等合計	—	64
少数株主持分	5,147	2,350
純資産合計	3,652,717	3,646,781
負債純資産合計	4,914,264	4,804,851

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)
売上高	1,817,126
売上原価	1,027,605
売上総利益	789,520
返品調整引当金繰入額	42,228
差引売上総利益	747,292
販売費及び一般管理費	493,333
営業利益	253,959
営業外収益	
受取利息	5,315
受取配当金	88
受取地代家賃	3,500
負ののれん償却額	2,310
その他	4,226
営業外収益合計	15,440
営業外費用	
投資有価証券評価損	2,116
その他	0
営業外費用合計	2,116
経常利益	267,283
特別損失	
関係会社清算損	310
有形固定資産除却損	204
特別損失合計	514
税金等調整前四半期純利益	266,768
法人税、住民税及び事業税	116,293
法人税等調整額	△2,216
法人税等合計	114,076
少数株主利益	2,797
四半期純利益	149,894

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年11月14日に株式会社ジャスダック証券取引所における自己株式取得のための固定価格取引により、自己株式259,500株取得(取得総額94,717千円)し、主にこの影響により、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が299,318千円となっております。

「参考」

前年同四半期にかかる財務諸表

(要約) 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 自平成19年10月1日 至平成20年3月31日	
区分	金額(千円)	
I 売上高		2,011,371
II 売上原価		1,152,344
売上総利益		859,026
返品調整引当金繰入		33,109
差引売上総利益		825,917
III 販売費及び一般管理費		503,860
営業利益		322,057
IV 営業外収益		
受取利息	5,050	
受取配当金	88	
受取地代家賃	3,116	
負ののれん償却額	2,310	
その他	2,577	13,143
V 営業外費用		
投資有価証券評価損	181	181
経常利益		335,019
税金等調整前四半期純利益		335,019
法人税、住民税及び事業税	133,865	
法人税等調整額	3,121	136,987
少数株主利益		1,799
中間純利益		196,232